

## 第32回エラストマー討論会のご案内と研究発表募集

会 期：2021年11月24日（水）・25日（木）

会 場：九州大学稲盛財団記念館稲盛ホール（福岡市西区元岡744（九州大学伊都キャンパス内））・オンライン併用開催

協賛団体：日本化学会 高分子学会 日本材料学会 日本複合材料学会 繊維学会 日本接着学会 日本レオロジー学会

（予 定） マテリアルライフ学会 プラスチック成形加工学会 日本トライボロジー学会（順不同）

第32回エラストマー討論会は九州で開催いたします。研究口頭発表はオンラインでもオフサイトでも発表可能なようにオンライン形式で実施、研究ポスター発表は従来通りオンラインで実施する予定です。研究口頭発表ではこれまでと同様にトピックテーマによる討論の場や英語セッションも設けます。トピックテーマとしては、「ゴム構造解析のための分光方法」と「ゴムの練り・配合技術の最新情報」を取り上げました。また、優秀発表賞（申込時35才以下）とCERI最優秀論文発表賞も授与する予定です。ゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに興味を持つあらゆる分野の方の積極的なご発表・ご参加をお待ちしております。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況によってはオンラインのみでの開催とさせていただきます場合がございます。最新情報は学会ホームページをご覧ください。

研究発表は、より有意義な討論を目指す目的で、以下の発表形式といたします。

1. 研究発表は口頭発表（若手・一般）形式で行う予定です（8月号で改めてご案内いたします）。発表言語は英語または日本語とします。

なお、若手は初日に、一般は2日目に行う予定です。また、若手は発表件数に制限がありますので、お早めにお申し込みください。

2. 発表内容はゴム・エラストマー・ソフトマテリアルに関するものであれば構いません。また、既発表のものを含んでいても差し支えありませんが、十分に討論する価値のあることが必要です。

3. 発表テーマの選択について

今回の発表は、以下の2つの方法で行います。

1) 従来どおりの方法での発表

以下の①～⑳から適切なテーマをお選びください。

①合成・重合、②構造、③物性、④分析法・解析評価法、⑤新材料、⑥ナノテクノロジー、⑦シミュレーション、⑧熱可塑性エラストマー、⑨配合、⑩練り、⑪成形加工、⑫接着・粘着、⑬金型、⑭劣化・寿命・信頼性、⑮トライボロジー、⑯リサイクル・グリーンケミストリー、⑰衛生・アレルギー・ヘルスケア、⑱エネルギー関連、⑳その他、㉑新製品・新技術紹介

2) トピックテーマでの発表

上記の一般発表とは別に「ゴム構造解析のための分光方法」と「ゴムの練り・配合技術の最新情報」とトピックテーマとしたセッションを設け、これらのテーマに特化した討論を行います。このセッションでの発表を希望される際は、申込書にその旨ご記入ください。

※この発表セッションは一般発表のみとなります。

若手発表は対象となりません（若手発表は、上記「1）従来どおりの方法」のテーマからお選びください）。

※「1）従来どおりの方法」でお申込みいただいた一般発表でも「2）トピックテーマ」発表に変更させていただくこと、またはその逆の変更がございますことをご了承ください。

3) 英語セッションでの発表

今回も「英語セッション」を設置いたします。英語でご発表される方は、このセッションを選択ください。

4. 口頭発表はオンライン形式（Zoomを使用）で行います。発表方法の詳細につきましては、プログラム確定

後、発表者にお知らせいたします。また、適宜最新情報を学会ホームページに掲載いたします。

5. 口頭発表の時間は1件あたり20分（発表14分、討論6分）の予定です。関連ある継続発表を希望する際は、その順序を①、②とご記入ください（若手と一般を継続することはできません）。

6. 発表者は日本ゴム協会会員（正会員・学生会員）であることが必要です。

研究発表の申込み要領

2021年8月20日（金）までにHP（<https://www.srij.or.jp>）からお申し込みください。

発表申込み受理

1. 発表申込みの採否およびプログラム編成はエラストマー討論会運営委員会にご一任ください。

2. 申込みを受理されたものについては予稿原稿の書き方を申込者あてにお送りいたします。

予稿原稿

1. 予稿原稿の枚数はA4判2枚です（英文アブストラクト（約150words）を含みます）。

2. 予稿原稿提出はメール添付PDFのみとします。

3. 予稿原稿締切 9月24日（金）事務局必着

ミキサー 第1日目の夕刻に、参加者の交流の場としてミキサーを開催いたします。活発な討論後の憩いの場となりますので、多数の参加をお待ちしております。

参加費：一般（シニアを含む）6,000円（当日申込）7,000円  
学生2,000円（当日申込）3,000円

名誉会員とシルバー会員の方はご招待ですが、お申込みが必要となります。

参加登録

詳細が決まり次第、協会誌やHPでお知らせいたします。

連絡先

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル  
一般社団法人日本ゴム協会 エラストマー討論会係  
TEL：03-3401-2957 FAX：03-3401-4143  
E-mail：office@srij.or.jp <https://www.srij.or.jp/>

## 第32回エラストマー討論会トピックテーマについて

第32回エラストマー討論会はトピックテーマとして「ゴム構造解析のための分光方法」と「ゴムの練り・配合技術の最新情報」を設け、本テーマに関わる基礎から応用技術まで幅広く活発な議論が行われることを期待しています。本テーマの設定意図は以下の通りです。会員各位の多数のご発表をお待ちしております。

### 1. 「ゴム構造解析のための分析方法」

近年のゴム構造・物性解析技術の発展は目覚ましく、例えば、以前は見えなかった分子鎖が見えるようになったり、伸長などの変形時に構造変化を高速で追跡できるようになっています。本トピックテーマでは、これらの例に限らず様々な最近のゴム構造・物性解析に関する研究討議を行いたく思います。具体的には、(1) 顕微鏡による構造観察・物性測定、(2) (放射光) X線散乱・解析・吸収・分光による構造解析、(3) 熱分析、(4) レオロジー的な解析をはじめとする力学特性解析、(5) シミュレーションに基づく新たな解析、(6) その他新しい構造・物性解析法に関する研究について討論します。

### 2. 「高付加価値なゴム製品をめざして～練り・配合技術の最新情報～」

日本のゴム産業の発展と技術革新に貢献してきた九州地区。今回のエラストマー討論会が九州地区で開催されるのを受けて、ゴム・エラストマー産業におけるものづくりの基幹技術である「練り・配合技術」をトピックテーマとして取り上げました。ゴム製品の根幹に係るこの2つの事項については、各所で様々な独自ノウハウをお持ちであり、門外不出の内容も多いかと推察いたします。一方で、COVID-19による国内・国際社会の劇的な変化に伴い、今こそ「オールジャパン」で高付加価値なゴム製品を世に送り出していくという観点から、産学官一体となった更なる技術革新を展開する必要があるトピックテーマであると考えます。多数の皆様のご発表とご参加をお待ちしております。